

令和8年度(第56回)

高松宮妃癌研究基金 学術賞候補者推薦要項

- 1. 候補対象** 日本人研究者が日本で行った研究で、がんに関する研究上の業績が特に顕著な研究者。
- 2. 学術賞** 本賞:楯 副賞:500万円
原則として基礎領域より1件、臨床領域より1件、計2件とする。
- 3. 候補者推薦の方法** 候補者の推薦は、原則として日本癌学会評議員によるものとする。(*)
推薦は所定の推薦用紙に必要事項を記入の上、候補者の主要な論文(5篇以内)を2セット添えて当財団宛に郵送する。
推薦書は当財団ホームページからダウンロードできる。所定の書式(2頁)に収まらない場合は、必要項目の欄を広げて使用するか、別紙を添付すること。但し追加は2枚までとする。(合計4頁以内)
(*)候補者の推薦は、原則として日本癌学会評議員によるものとするが、この法人の学術委員会委員、この法人の学術関係役員・評議員及び大学等研究機関のがん研究者からの推薦も可能とする。
- 4. 推薦受付期間** 令和8年6月1日(月)～7月31日(金)(必着)
郵送のみ受付ける。メール送付は不可とする。
- 5. 選考方法** 学術賞受賞者は下記委員からなる学術委員会において選考し、理事会において承認の上決定される。

学 術 委 員

委員長	今井 浩三	北海道大学招聘教員、客員教授 東京大学医科学研究所元病院長 札幌医科大学名誉教授、元学長
副委員長	若林 敬二	静岡県立大学特任教授 国立がんセンター研究所元所長
委員	大津 敦	がん研究会研究本部本部長 国立がん研究センター東病院名誉院長
	佐谷 秀行	藤田医科大学腫瘍医学研究センター センター長兼特命教授 慶應義塾大学名誉教授

竹内 賢吾	がん研究会がん研究所副所長 兼病理部部长 兼分子標的病理プロジェクトプロジェクトリーダー 兼有明病院臨床病理センターセンター長
中釜 齊	日本医療研究開発機構理事長 国立がん研究センター元理事
西川 博嘉	京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合 研究センター がん免疫多細胞システム制御部門 教授 国立がん研究センター研究所腫瘍免疫研究分野 分野長 名古屋大学大学院医学系研究科微生物・免疫学 講座分子細胞免疫学 教授
間野 博行	国立がん研究センター理事長
村上 善則	日本医科大学先端医学研究所特命教授 東京大学名誉教授
森 正樹	東海大学副学長、医学部長 大阪大学名誉教授、九州大学名誉教授

(五十音順、敬称略)

6. 選考結果の通知 選考結果は令和8年12月下旬に受賞者宛に理事長名で通知する。

7. 学術賞の贈呈 令和9年2月22日(月)(予定)、都内ホテルにおいて学術賞・研究助成金等贈呈式を開催、受賞者本人に楯と副賞の目録を贈呈する。なお、当財団規程により受賞者本人と配偶者の旅費を支弁する。

- (注)
- a. 共同受賞の場合には、副賞は人数に応じて均等に分割して贈呈する。
 - b. 当財団の理事、監事、評議員及び学術委員は候補者の対象にない。
 - c. 提出された書類一式は返却しない。

8. 研究内容の講演について

学術賞受賞者は、令和9年2月開催予定の学術賞・研究助成金等贈呈式において研究内容について講演を行う。研究助成事業を支える寄附者への報告を趣旨とすることから、わかりやすい内容とする。

9. 個人情報の取扱いに関して

- (1) 当財団が、応募書類から得た応募者の個人情報は、受賞者の選考、審査及び本人への通知など、選考業務に限定して使用する。
- (2) 受賞者の氏名(顔写真を含む)、所属、研究業績及びプロフィールは、学術賞・研究助成金等贈呈式で配布する冊子に掲載するほか、当財団機関誌「CANCER」及びホームページで公開し、内閣府へ報告

(顔写真は除く)する。

また、学術賞・研究助成金等贈呈式の写真(配偶者を含む)を
当財団機関誌「CANCER」及びホームページに掲載する。

推薦書提出先・連絡先

公益財団法人 高松宮妃癌研究基金 (担当 大館)

〒108-0074 東京都港区高輪1丁目14-15-102

電 話 (03)3441-0111

F A X (03)3441-0112

メールアドレス info@ptcrf.or.jp

ホームページ <http://www.ptcrf.or.jp>